

メールマガジン

第七号

2006/11/20

1 目次

○トピックス

東北師範大学留日予備校における日本国留学説明会 開催

史寧中会長が九州大学留学説明団と会談

首都師範大学における合同留学説明会 開催

九州大学伊東正一教授 来所

九州大学農学研究院 横川洋副院長 来所

○世界のコメに関する日中国際シンポジウムのポスター

2 メールマガジンへの寄稿

九州大学北京事務所では、中日研究・教育や九州大学OBの活動に関する情報、集会やイベントの案内など、メールマガジンの原稿を募集し、九州大学教職員・OB及び関係各位に配信します。ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。

3 事務所だより

12月16日(土)世界のコメ・日中国際シンポジウム開催 ここ数年間、アジアの一人当たりコメ消費量の減少傾向の問題があります。これはアジアの農業、食文化、健康問題を左右する大切な問題です。この態勢にどのように対応するかはますます切迫になりつつあります。そのため、今回のシンポジウムを企画し、各分野の専門家とともにお互いに議論を闘わせ、現状と将来状をより正確に把握し、打開策をさぐることを図っています。なお、今回は、中国でシンポジウムを開催しており、この場を借りて世界コメの情報をお伝えしながら、中国の参加者の皆様からご意見を賜りたいとも思っております。年度末なので何かとご多忙な時期ではありますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただければ幸いです。詳細は <http://www.kyushu-ucn.net/>まで。

編集代表者：九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発行：九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住所：〒100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号铸誠大厦B座2008室
電話：+86-10-5158-1387 ファックス：+86-10-5158-1367
メール：peiking_office@yahoo.co.jp (日语)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

トピックス

1

東北師範大学留日予備校における日本国留学説明会 開催

11月3日(金)、在中国日本大使館、日本学術振興会、東北師範大学中国赴日本国留学生予備学校が共催した日本留学説明会が中国赴日本国留学生予備学校(長春)に開催されました。



今回の留学説明会は、日本大使館推薦の日本政府奨学金留学生候補者を対象に、日本の大学を紹介することにより、留学生と指導教官とうまくマッチングできることを目的とし盛大に行われました。日本大使館の横井理夫一等書記官、日本学術振興会の福西浩所長、山口英幸首席代表、中国赴日本国留学生予備学校の李若柏校長、鄭国愛副校長、張群舟副校長のほか、北海道大学、東北大学、名古屋大学、広島大学、九州大学の代表が今度の説明会に出席しました。九州大学側は、九大留学センターの岡崎智己教授、工学研究院の太田和秀教授、国際交流部の松川耕三係長及び北京事務所の宋敏所長が出席しました。



2

史寧中会長が九州大学留学説明団と会談

11月3日(金)、東北師範大学中国赴日本国留学生予備学校における留学説明会の後、九州大学留学説明代表団一行4人は東北師範大学の史寧中学長(在中国九州大学同窓会会長)、劉益春副学長(在中国九州大学同窓会理事)を表敬訪問しました。史会長との会談で、在中国九州大学同窓会の運営、九州大学と中国の大学との交流などについて、幅広く意見交換を行いました。



トピックス

3

首都師範大学における合同留学説明会 開催



11月6日、首都師範大学及びその周辺の大学の学部生や大学院生を対象に、日本の留学制度や大学の状況を紹介するために、広島大学北京研究センターが主催する合同留学説明会は首都師範大学の国際文化ビルにて開催されました。

在中国日本大使館、日本学術振興会の代表、東京大学、北海道大学、一橋大学、九州大学などの日本大学の代表及び首都師範大学の関係者が今回の留学説明会に出席しました。

説明会では、首都師範大学の副学長の開幕挨拶に続き、日本大使館と日本科学技術振興会が国費留学制度、招聘研究員制度などを紹介、各大学の代表はそれぞれの大学の概況や留学生受入れ状況などについて説明しました。共同説明後、学生の質問に対して個別交流を行いました。

九州大学には国際推進室の松川耕三係長と北京事務所の李同帰副所長が説明会に出席しました。



4

九州大学農学研究院伊東正一教授 来所



11月7日(火)、九州大学大学院農学研究院農業資源経済学部門の伊東正一教授が北京事務所を訪れ、世界のコメに関する日中国際シンポジウムの開催について、北京事務所の宋敏所長、王志剛副所長と会談し、北京事務所の協力を求めて、日中共同開催で合意の上、実現に向けての打ち合わせを行いました。

■ トピックス ■

5

九州大学国際交流推進室松川係長 来所



2006年11月6日(月)、東北師範大学及び首都師範大学の留学説明会に出席のため、九州大学国際推進室の松川耕三係長が北京事務所を訪れました。事務所の運営状況などについて意見を交換、さらに遠隔授業の設置、中国の大学や研究機関との教育交換プログラムの実施などについて、宋敏所長と打ち合わせを行いました。

6

九州大学農学研究院 横川洋副院長 来所

2006年11月23日から24日にかけて、九州大学農学研究院横川 洋副院長が来所、農学研究院の特別コース(文部科学省奨学金、英語で授業するコース)について説明し、優秀な学生の確保に関しては北京事務所運営委員会と意見交換を行いました。意見交換会には宋敏(中国農業科学院)、徐環李(中国農業大学)、王志剛(中国人民大学)、李同帰(北京大学)が出席、杜孝平(北京航空 航天大学)が授業のため、欠席。



■ 世界のコメシンポジウムのポスター ■

危機に瀕する世界のコメその3

— 世界のコメ生産、加工と消費：日中の現状と可能性 —

目的: アジア諸国及び中国におけるコメ消費減退の現状把握と改善策のための情報交換
主催: 世界のコメ学際研究グループ（代表：伊東正一 九州大学教授）
共催: 東アジア農業・資源・環境政策フォーラム（中）
支援: 九州大学北京事務所、中国農業大学経済管理学院
日時: 2006年 12月 16日（土）午前9時～午後6時（受付 午前 8時より）
場所: 中国北京金碼大厦（中国農業大学東区）（北京海淀区学清路38号、TEL: +86-10-6232-8899）
参加料: 無 料
申込み: Fax又はEメールで、氏名、職業、Fax番号（又はメールアドレス）をご記入の上、お申し込み下さい。

問い合わせ先: 九州大学北京事務所
TEL: (010) 5158-1387, FAX: (010) 5158-1367
E-mail: peiking_office@yahoo.co.jp (日本語), kyudai_ob@yahoo.com.cn (中国語)

申込みの〆切り: 2006年 12月 12日（火）

報告の主な内容:

午前の部:

世界における近年のコメ需給情勢
コメの加工現状

午後の部:

日本、中国におけるコメの消費現状と課題
日本、中国におけるコメの生産現状と課題

報告者:

中国側:

黄季焜（中国科学院・農業政策研究センター長）
李里特（中国農業大学 教授） 中国におけるコメの主食地位と加工情況
張 峭（中国農科院 研究員） 中国におけるモミの需給分析及び展望
武 文（中国農業部 副研究員） 90年代における中国コメ生産変化の特徴
金洪雲（中国人民大学 助教授） 中国におけるコメ生産の現状及び存在問題
穆月英（中国農業大学 助教授） 中国におけるコメ消費の変化及びアジアへの影響

日本側:

伊東正一（九州大学 教授） 消費減退が引き起こす世界のコメ危機
森 宏（専修大学、名誉教授） コーホート分析法による日本のコメ需要変化に関する分析
下澤理如（三洋電機KK、開発部） 炊飯器の開発と米の消費拡大—炊飯器開発現場からのレポート
石川行弘（鳥取大学 教授） コメと栄養・健康—消費拡大のための方向は？
加古敏之（神戸大学 教授） 日本におけるコメ需要の動向とコメ需要拡大対策
丸山幸夫（筑波大学 教授） イネの飼料利用のための品種改良に関する研究

会場の位置図

金碼大厦

